

- 須崎市制 70 周年をみんなでお祝いしよう！
「須崎のサカナ文化祭」11月9-10日、16-17日開催
地域の食/伝統文化からエンターテイメントまで見どころいっぱい！

各位

令和6年11月7日

高知信用金庫（理事長・山崎久留美）は、須崎市と共催で「須崎のサカナ文化祭」を、須崎市中心市街地商店街ならびに須崎八幡宮で開催し、地域活性化をサポートいたします。期間は11月9日（土）10日（日）、16日（土）17日（日）の4日間です。

「須崎のサカナ文化祭」は須崎市制70周年を記念して開催するもので、9日、10日はおいしい魚を食べながらみんなでお祝いをしようと企画。須崎市各漁協の皆様による新鮮な魚の販売や30以上のキッチンカーやお店の出店があります。ステージでのライブイベントや米国からきたシェフによるマグロの解体ショーなど見どころが盛りだくさんです。

須崎八幡宮では9日、手を触れずに魚をさばいて神様に奉納する儀式「庖丁式（ほうちょうしき）」と雅楽の奉納演奏が行われます。

地域の食や伝統文化、エンターテイメントなど見どころいっぱいの「須崎のサカナ文化祭」。この秋、須崎で一緒にお祭りを楽しみましょう。



須崎のサカナ文化祭 開催概要

名称 祝 市制 70 周年 縁日大祝賀会「須崎のサカナ文化祭」
日時 11 月 9 日（土） 第一部 午前 11 時～午後 4 時
第二部 午後 6 時～8 時 30 分
11 月 10 日（日） 午前 11 時～午後 4 時
会場 須崎市中心市街地商店街、須崎八幡宮
主催 須崎市、須崎市海のまちプロジェクト推進協議会
一般社団法人須崎海のまち公社
共催 高知信用金庫、公益財団法人地域みらい財団

オープニングセレモニー

日 時：11 月 9 日（土）午前 10 時 30 分～
場 所：縁日ひろば（須崎のサカナ本舗東側）
内 容：主催者挨拶、鏡開き等

市制 70 周年祝賀 庖丁式・雅楽奉納演奏

庖丁式は、魚がけがれないようにと、手を触れずに魚をさばいて神様に奉納する儀式です。平安時代より代々宮中の政事の官職の他に庖丁道・料理道を司る四條司家第 41 代當代・四條隆彦氏が執り行います。庖丁式の後には雅楽の奉納演奏。メインの演奏者は元宮内庁式部職楽部主席楽長の豊英秋氏です。



<開催概要>

日時：11 月 9 日(土)午後 1 時 30 分～

会場：須崎八幡宮境内（須崎市西古市町 6-9）

※観覧整理券（100 席分）は午前 11 時 30 分より須崎八幡宮境内で配布します

須崎のサカナダイニング in 須崎のサカナ本舗 （九石大敷組合提供）

日米 4 人のシェフによる「須崎のサカナ」エンターテイメント。九石大敷組合の新鮮でハイレベルな魚が、寿司・刺身・皿鉢で登場。米国寿司職人デイビッドの寿司ステージ、藁焼きブースも必見です。

<開催概要>

日時：11 月 9 日(土)午前 11 時～午後 4 時

会場：須崎のサカナ本舗（須崎市東古市町 1-30）

料金：大人 1,500 円、小学生 500 円 ※ドリンク別途販売（アルコール有）

※11：00～、12：00～、13：00～、14：00～、15：00～の入れ替え制、各回定員 30 人

※受付は 10 時半から須崎のサカナ本舗前で行い、整理券を配布します

デイビッドのサムライ寿司バー in 古市楽座 (九石大敷組合提供)

マイアミで活躍中のデイビッドによるアメリカンテイストの寿司ショー。魚種豊かな須崎のサカナを活かして最高のコンディションで提供。カッコいいパフォーマンスにも注目！

<開催概要>

日時：11月9日(土)夜の部 午後6時～午後8時 参加自由

会場：古市楽座 (須崎のサカナ本舗北側)

料金：にぎり寿司セット4貫500円、巻き寿司セット500円

※ドリンク別途販売 (アルコール有)



須崎大漁堂お祝いピンチョス祭り

大漁堂では特別メニュー「お祝いピンチョス BOX」を販売します。地域食材を使った大漁堂の人気メニューとピンチョスがひとつのBOXに大集合。シェフが作った本格メニューをみんなで楽しんでください。2～3人分のボリュームで料金は2,800円(2ドリンク付)。特製ロールケーキとベリーのパンナコッタが入った「お祝いスイーツBOX」1,300円(2ドリンク付)もどうぞ。

※サカナ文化祭期間中は、大漁堂ではドリンクメニューのみの提供は行っていません。

デイビッドのマグロ解体ショー

11月10日(日)正午から、縁日ひろばステージにて繰り広げられる米国寿司職人デイビッドの本マグロ解体ショー。日本をこよなく愛するデイビッドは龍馬と須崎が大好き。明德義塾の太鼓衆魅鼓とのコラボによるフロリダ仕込みのマグロショーで盛り上げます。

デイビッドのマグロ寿司バー in 須崎のサカナ本舗

須崎のサカナ文化祭のファイナルステージを、寿司職人デイビッドが盛り上げます。土佐洋「いちばん船」自慢の本マグロと、マグロを知り尽くした職人技をご堪能ください。

<開催概要>

日時：11月10日(日)午後1時～午後3時 参加自由

会場：須崎のサカナ本舗

料金：にぎり寿司セット3貫500円、巻き寿司セット500円

※ドリンク別途販売 (アルコール有)

漁協による魚販売「須崎の魚まつり」

須崎魚市場周辺で毎年11月に開催される「須崎の魚まつり」が、今年はサカナ文化祭とコラボレーション。新鮮な須崎の魚の販売が行われます。ステージで行われるセリ体験にもぜひご参加ください。

RKC ラジオ生中継「須崎大好き！まるごと SUSAKI ラジオ」

11月9日（土）午後1時から3時まで、会場の賑わいやステージの様子をRKC ラジオで生中継します。須崎にちなんだ楽曲や関係者のお祝いメッセージもオンエアします。

大道芸パフォーマンス

ジャグリングアーティスト・吉川健斗が登場。ハイレベルなジャグリング技術にユーモアを加えたパフォーマンスをお届けします。

こども広場

高知信用金庫須崎つものやま支店前に「こども広場」が登場。楽しい縁日遊びや、もらってうれしいおもちゃが当たるゲームなど盛りだくさん。昔懐かしいあの日にもどって、みんなで楽しもう！

出店者およびステージ出演者

キッチンカー&お店出店（予定）：やきとりまーちゃん、カレー屋ゆうき堂、collation、STAY GOLD CAFE、NICO CAFE、からあげ専門店 TORICO、担々回、十月一日、K FOOD KITCHEN、CHILL CURRY、まるか商店、中村鮮魚店、集落センターあわ、Doggy Style hotdogs、小麦の奴隷、迫田刃物、キッチン 458、宮島、須崎魚市場商人組合、津野山畜産公社、錦浦フィッシャーマンズクラブ、九石大敷組合、たろちのお菓子屋、corretto.RINDA、八家企画、フォンバインミー、cabs、THAT DEPENDS、土佐龍、まーさん堂、マチネベーカリー、土間と壁 coffee、丸共味噌醤油醸造場、マルナカ海産、尻屋輝 ながやま、土佐キムチ、hotori、ヨルハネル、とくひさケータリングサービス、山の灯、ALO、シフォンズ、fromagerie YAMASAKI、mowcandle、須崎総合高校マルシェ、ヤマシン西岡鮮魚店、まるなか・寺田商店

出演者・パフォーマー（予定）： 明德義塾中学・高等学校 太鼓衆魅鼓、夕鶴（新体操）、すさきドリーム（コーラス）、すさき～真実～（よさこい）、サンドイッチパーラー、ユキ&志麻、NEW CINEMA WEEKEND81

※お店&キッチンカーの参加日程、出演者・パフォーマーの出演日は、須崎のサカナ文化祭のHP（右記二次元コード参照）でご確認ください。



絵師・柳太郎展「須崎縁起絵図」

柳氏は、須崎市の自然と文化にインスピレーションを受け、海のまちプロジェクトに関わるさまざまなアートワークを生み出してきました。「須崎縁起絵図」は古市楽座の天井絵として奉納する作品です。四万十ヒノキを板地に、須崎を見守る神さまやサカナ、だるまたちが描かれています。柳氏のこれまでの作品とともに、須崎の神社仏閣やそれにまつわる神々の逸話をモチーフにした新作 30 点も初公開。今秋、米国・ロサンゼルスで大好評を博した絵師・柳太郎氏の世界をお楽しみください。

<柳太郎プロフィール>

東京築地生まれ。シュルレアリスムや日本伝統美術の強い影響を受け、独自の色彩感覚で緻密に世界を描く画家です。2年前、初めて訪れた須崎で深く感銘を受け、数々の作品を生み出しました。須崎大漁堂・須崎のサカナ本舗・須崎縁日商店街のロゴなど、印象的なデザインを手がけ、須崎市のイメージを彼独自の感性で表現しつつ、作品に昇華させています。



<開催概要>

会期：2024年11月9日(土)～23日(土・祝)

会場：すさきまちかどギャラリー（高知県須崎市青木町1-16）

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日休）



©TARO YANAGI

野崎洋光先生 presents 須崎のサカナ本舗 特別メニュー

和食の巨匠・野崎洋光先生が再び須崎に。地元食材を使った和食の特別コースを、11月16日(土)、17日(日)の2日間ご提供します。料金は1人3,500円。両日ともに11時からと12時30分から、14時からの入れ替え制。ご予約は「須崎のサカナ本舗」(電話 0889-59-1950)まで。



産官学金が連携で取り組む須崎市海のまちプロジェクト

当金庫と須崎市（市長・楠瀬耕作）が主催する「須崎市海のまちプロジェクト」は、中心市街地の活性化を図ることを目的に、2021年にスタートしました。当金庫が創業100周年事業として強力にバックアップすることとしており、高知県・信金中央金庫・高知大学・須崎総合高校の産官学連携による強力な支援と各界の幅広い後援を受け、積極的に取り組んでいます。魅力溢れる奥四万十の玄関口として、当金庫の創業地須崎市がますます発展されるよう、今後とも海のまちプロジェクト推進に貢献してまいります。

神様があふれるまち、須崎

その昔、京の都を追われた藤原経高が津野山郷に入り、須崎市を荘園として収めました。津野氏はまちの安寧を願い多くの神社を建立し、京都を模したといわれています。その他、商売繁盛、豊漁祈願、安全祈願など、まちのあちこちにさまざまな神様が鎮座しています。

縁起めでたい「須崎縁日商店街」

港町として栄え、奥四万十への入口として発展してきた須崎のまち。商店街のあちらこちらに、まちが栄え、人の往来が盛んだった頃の姿が残っています。例えば、旧三浦邸、銭湯、レコード店、インベーダーゲームのある喫茶店など懐かしい佇まいのお店もあり、まちの魅力となりうる貴重な資源です。また、京都に由来するまちの歴史や文化を紐解けば、数多くの逸話がある縁起のよいまちでもあります。

これらの資源を生かし、この須崎縁日商店街を、わくわく楽しい縁起めでたい商店街として活性化させる取り組みを行います。



（縁日商店街のイメージ）